

## VTRバンクとタイムテーブル

NO	WEEK	TIME	VTR-B	MOD
0001	SUN	10:00:00	V01-1	M
0002	SUN	10:30:00	V02-1	2
0003	SUN	11:00:00	V01-3	S
0004	SUN	12:00:00	V02-1	M
0005	SUN	12:45:00	AUX-1	S
0006	SUN	13:00:00	V01-1	M
0007	SUN	13:30:00	V02-1	2
0008	SUN	14:00:00	V01-3	S
0009	SUN	15:00:00	V02-1	M
0010	SUN	15:45:00	AUX-2	M
0011	SUN	16:00:00	END	

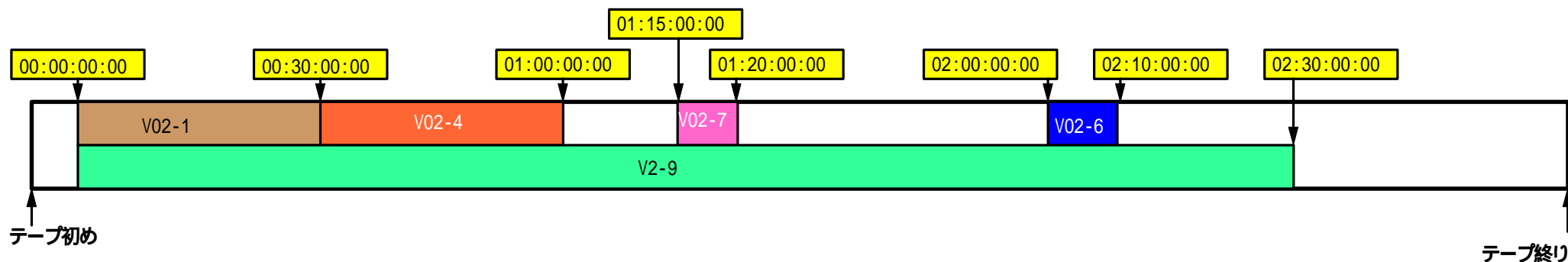
VTR-B	TOP T/C	END T/C
V01-1	01:00:00:00	01:30:00:00
V01-2		
V01-3	01:35:00:00	02:35:00:00
V01-4		
V01-5		
V01-6		
V01-7		
V01-8		
V01-9		

VTR-B	TOP T/C	END T/C
V02-1	00:00:00:00	00:30:00:00
V02-2		
V02-3		
V02-4	00:30:00:00	01:00:00:00
V02-5		
V02-6	02:00:00:00	02:10:00:00
V02-7	01:15:00:00	01:20:00:00
V02-8		
V02-9	00:00:00:00	02:30:00:00

緑色の部分は自動的に計算された時間  
 AUXの場合は長さのデータがないので次の開始時刻は計算できません。

## VTRバンク 設定例

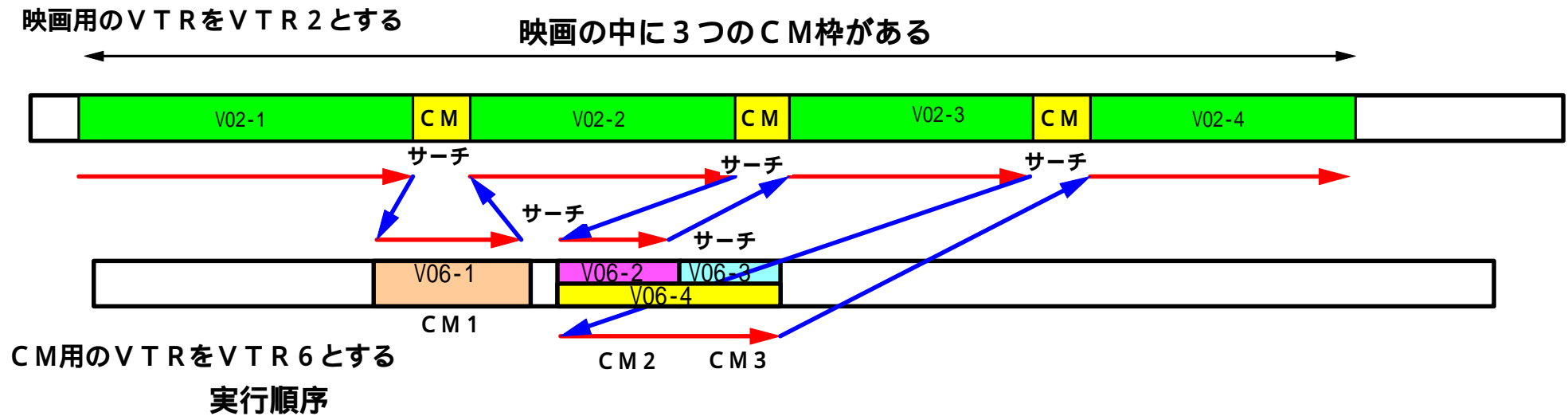
一本のテープに9つ迄の番組のイン点とアウト点をタイムコードで設定し、それぞれを単独に送出することができます。  
下記が設定のイメージです。



VTR-B	TOP T/C	END T/C
V02-1	00:00:00:00	00:30:00:00
V02-2		
V02-3		
V02-4	00:30:00:00	01:00:00:00
V02-5		
V02-6	02:00:00:00	02:10:00:00
V02-7	01:15:00:00	01:20:00:00
V02-8		
V02-9	00:00:00:00	02:30:00:00

# VTRバンクの別の使い方（CM枠のある映画にCMを入れる）

映画の中に3つのCM枠がある場合にテープの加工はしないでこの部分にCMを入れて送出する



- V02-1
- V06-1
- V02-2
- V06-2
- V02-3
- V06-4
- V02-4

映画のCM枠の長さと送出するCMの長さは同じでなくてもかまいません。ただしCM送出中に次のバンクを頭出ししますのでそのサーチにかかる時間以上のCM時間が必要です。また、バンクの最低の長さは30秒です。

## 実行モード（１）すべて内部タイマーで起動

NO	WEEK	TIME	VTR-B	MOD
0001	SUN	10:00:00	V01-1	M
0002	SUN	10:30:00	V02-1	2
0003	SUN	11:00:00	V01-3	S
0004	SUN	12:00:00	V02-1	M
0005	SUN	12:45:00	AUX-1	S
0006	SUN	13:00:00	V01-1	M
0007	SUN	13:30:00	V02-1	2
0008	SUN	14:00:00	V01-3	S
0009	SUN	15:00:00	V02-1	M
0010	SUN	15:45:00	AUX-2	M
0011	SUN	16:00:00	END	

タイムテーブル入力中は自動計算された時刻は緑になるが、実行中はすべて黄色になる。黄色の部分はタイマー起動するという意味です

現在 1 行目を実行しているとき 2 行目への実行は 2 行目の時刻になった時

このようにすべてのイベントが内部タイマーにより実行される

VTRバンクのエンドポイントがくる前にタイマー起動したときはその時点で切り替わる

逆に、タイマーより早めにエンドポイントになった場合はタイマー起動がかかるまでAUX 2に切り替わる

基本的にはタイムコードを元に計算した時刻なので大きくはずれないが、NDFモードでは1時間で4秒ほど誤差が出る

## 実行モード（2）VTRはエンドタイムコードで次を起動

NO	WEEK	TIME	VTR-B	MOD
0001	SUN	10:00:00	V01-1	M
0002	SUN	10:30:00	V02-1	2
0003	SUN	11:00:00	V01-3	S
0004	SUN	12:00:00	V02-1	M
0005	SUN	12:45:00	AUX-1	S
0006	SUN	13:00:00	V01-1	M
0007	SUN	13:30:00	V02-1	2
0008	SUN	14:00:00	V01-3	S
0009	SUN	15:00:00	V02-1	M
0010	SUN	15:45:00	AUX-2	M
0011	SUN	16:00:00	END	

タイムテーブル入力中は自動計算された時刻は緑になるが、実行中も緑色のままです。この部分は実行時刻の目安を表示しているものでタイマーは無視します。

現在1行目を実行しているとき2行目への実行はV01-1のエンド位置のタイムコードになった時

AUX、もしくはVTRをAUXとして設定した場合は、その行の次の起動はタイマーによる

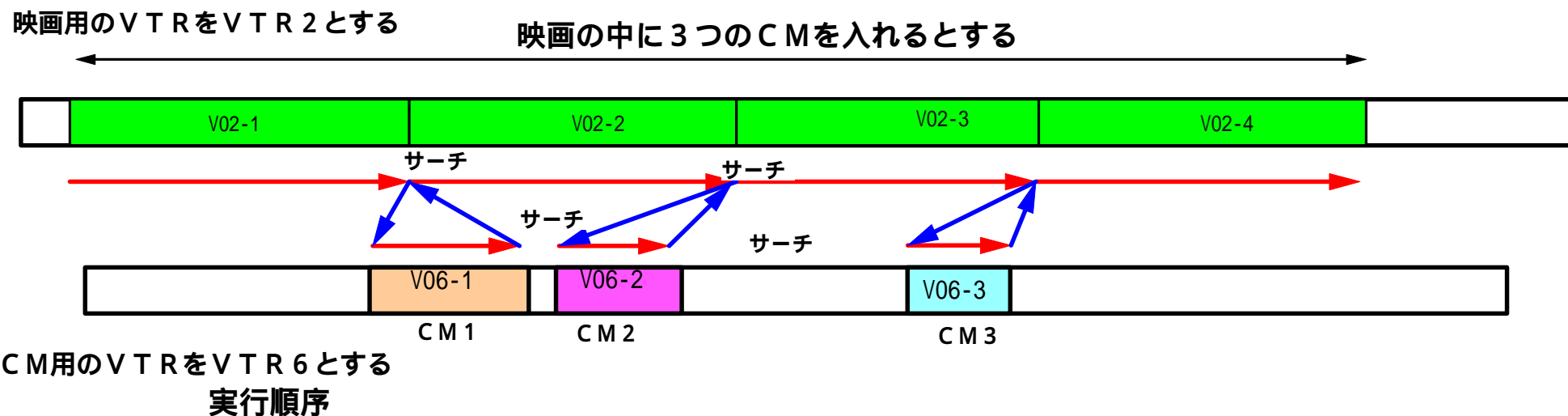
緑色の部分のタイマーは無視される。この部分はタイムコードにより次の行を実行する。

このモードはタイムコードにより次を起動するので、DF、NDFに関わらず精度のよい切り替えが可能となる。

このモードではVTRのみであれば時刻を全く入力せずにリピート運転が可能となる

## VTRバンクの別の使い方（CM枠のない映画にCMを入れる）

映画の中にテープの加工はしないでこの部分にCMを入れて送出する



V02-1  
V06-1  
V02-2  
V06-2  
V02-3  
V06-3  
V02-4

まず、映画の中でCMを入れたいところまでを1つのバンクとして登録します。

バンクの設定を少しオーバーラップする事でCMから戻ったときにCMに入る前のシーンを再生することができます。

## 実行モード(2)でリピート運転

NO	WEEK	TIME	VTR-B	MOD
0001	SUN	10:00:00	V01-1	M
0002	SUN	10:30:00	V02-1	2
0003	SUN	11:00:00	V01-3	S
0004	SUN	12:00:00	V02-1	M
0005	SUN	12:45:00	V03-1	S
0006	SUN	13:00:00	V01-1	M
0007	SUN	13:30:00	V02-1	2
0008	SUN	14:00:00	V01-3	S
0009	SUN	15:00:00	V02-1	M
0010	SUN	15:45:00	V03-2	M
0011	SUN	16:00:00	REPT	

AUXがないのですべてタイムコードのみで次を起動します。

タイマースタートしたときは一番最初のみ  
SUN 10:00:00に起動がかかりその後はす  
べてタイムコードにより次のVTRに制御が移  
り11行のREPTでまた1行目に実行が移るた  
めエンドレスリピート動作となる。

デモはこのモードを使用しています。

時刻を入力しなくても実行できます。  
この場合はタイマースタートできないので  
任意の行を手動スタートします。





**LOGIX**